



人間文化研究機構

第11回公開講演会・シンポジウム

「ウチから見た日本語、

ソトから見た日本語」



2009年12月5日(土) **聴講無料**

13:00~17:30(開場12:30)

(要事前申込)
定員500名

有楽町朝日ホール (東京都千代田区2-5-1 有楽町マリオン11階)

主催:人間文化研究機構、国立国語研究所 後援:文部科学省、朝日新聞社

パネルディスカッション

「ウチから見た日本語、 ソトから見た日本語」

司会:木部 暢子

(鹿児島大学教授/国立国語研究所客員教授)

パネリスト:

工藤 真由美・平田 オリザ・
喜多 壮太郎・角田 太作

講演1 「方言の多様性から見た日本語」

工藤 真由美(大阪大学教授)

講演2 「劇作家から見た日本語」

平田 オリザ(劇作家、大阪大学教授)

講演3 「幼児の言語発達から見た日本語」

喜多 壮太郎(イギリス・バーミンガム大学准教授)

講演4 「世界の諸言語から見た日本語」

角田 太作(国立国語研究所言語対照研究系長)

2009年10月1日に、国立国語研究所が人間文化研究機構の第6番目の研究機関となりました。国立国語研究所は「ことば」の研究所です。私たちにとって、ことばは空気のような存在で、ふだんは意識すらしません。しかし、もしことばがなかったら、人類は今日の文化・文明を築くことはできなかったでしょう。この公開講演会では、全国諸方言に見られる日本語の豊かさ、演劇・文学を支える日本語の美しさ、幼児が日本語を習得する巧妙なしくみ、世界の諸外国語から見た日本語の特質といった観点から豊富な話題を提供し、日本語の幅広さと奥深さ、そしてことばについて研究することの面白さをお伝えします。

- 13:00 開 会 金田 章裕(人間文化研究機構長)、影山 太郎(国立国語研究所長)
- 13:15 講 演 1 「方言の多様性から見た日本語」 工藤 真由美(大阪大学教授)
- 13:50 講 演 2 「劇作家から見た日本語」 平田 オリザ(劇作家、大阪大学教授)
- 14:25 休 憩
- 14:40 講 演 3 「幼児の言語発達から見た日本語」 喜多 壮太郎(イギリス・バーミンガム大学准教授)
- 15:15 講 演 4 「世界の諸言語から見た日本語」 角田 太作(国立国語研究所言語対照研究系長)
- 15:50 休 憩
- 16:05 パネルディスカッション 「ウチから見た日本語、ソトから見た日本語」
司会：木部 暢子(鹿児島大学教授／国立国語研究所客員教授)
パネリスト：工藤 真由美・平田 オリザ・喜多 壮太郎・角田 太作
- 17:30 閉 会

【申込み方法】 入場無料、事前申込み制。定員になり次第、締め切ります。
「第11回公開講演会・シンポジウム参加希望」と明記の上、お名前(ふりがな)、連絡先を下記まで御連絡ください。
Email: forum@ninjal.ac.jp FAX: 042-540-4456
国立国語研究所ホームページ(<http://www.ninjal.ac.jp/>)からお申し込みができます。

【交通案内】 有楽町朝日ホール

JR有楽町駅 中央口または銀座口
東京メトロ(丸の内線・銀座線・日比谷線) 銀座駅C-4出口
東京メトロ(有楽町線) 有楽町駅D7a、D7b出口
いずれも徒歩2分



第11回公開講演会・シンポジウム 申込み

必要事項をご記入の上、FAX: 042-540-4456 にお申し込みください。

住 所:

氏 名(ふりがな):

電話番号: